

嬉野医療センターを受診された患者さまへ

研究情報公開について

通常、臨床研究を実施する際には、文章もしくは口頭で説明・同意を行い実施します。臨床研究のうち、患者さまへの侵襲や介入もなく診療情報等の情報のみを用いた研究については、国が定めた指針に基づき「対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得る必要はありません」が、研究の目的を含めて、研究の実施についての情報を公開し、さらに拒否の機会を保障することが必要です。

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象に該当する可能性がある方で、診療情報等を研究目的に利用、または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。

研究課題名	急性胆嚢炎に対する内視鏡的胆嚢ドレナージ術の有効性の評価
研究責任者（所属名）	嶋倉茜（消化器内科）
本研究の目的	中等症～重症の急性胆嚢炎における初期治療として、抗菌薬投与と並行して緊急/早期の胆嚢ドレナージが推奨されています。また現在の急性胆嚢炎診療ガイドラインでは緊急胆嚢炎手術に熟練した内視鏡外科医が在籍する医療機関では、早期の腹腔鏡下胆嚢摘出術が推奨されていますが、高齢化の進行により抗血栓薬の併用や耐術能の低い患者が増加しており、必ずしも早期の腹腔鏡下胆嚢摘出術が可能であるわけではありません。より侵襲の少ない治療法としての内視鏡的胆嚢ドレナージの安全性、有効性を解析し、治療の有効性を検討します。
調査データの該当期間	2016年1月から 2021年12月まで
研究の方法 (使用する試料等)	対象となる患者様： 2016年1月1日から2021年12月31日の間に嬉野医療センターに急性胆嚢炎の診断で入院した方 利用する情報/資料： 性別、年齢、身長、体重、BMI、既往歴、抗血栓薬内服歴、発症日、来院時の全身状態、検査結果（血液検査、画像検査） 研究の概要/方法： 上記のカルテ情報を用いて、急性胆嚢炎に対する内視鏡治療の安全性、有効性についてデータ解析を行います。
個人情報の取り扱い	利用する情報から、氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除した状態で取り扱われます。研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は一切利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：0954-43-1120（代表） 担当者：管理課長
備考	